空容器問題への取り組み

リデュース、リユース、リサイクルの3Rにリフューズを加えた4Rに取り組んでいます。

4Rの推進による空容器問題への対応

空容器の発生回避に向けて

宝酒造では、焼酎や清酒、チューハイ、本みりんなどを 製造し、ガラスびんやペットボトル、アルミ缶、紙パックなど さまざまな容器に充填して販売しています。ところが、これら の商品を販売し中身が消費された後に発生する空容器 は、社会に大きな環境負荷を与えています。

このため、当社ではこの空容器の問題に対処するため、 リデュース (Reduce:減量化)、リユース (Reuse:再使用)、 リサイクル (Recycle: 再資源化) の3Rにリフューズ (Refuse: 発生回避)を加えた4Rの取り組みを進めています。

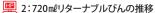
リフューズとは、余分なものを買わずに必要な物だけを 買うことにより、ごみを減らす活動です。「はかり売り」は、 余分な容器を購入せず必要な分だけ中身を買うという意 味でリフューズにあたります。

Refuse

Reduce Reuse

Recycle

■ D:環境に配慮した容器包装





環境配慮型商品の開発

宝酒造では、「環境配慮型商品の開発」を継続的に進め ています。ISO14001の目標にも掲げて商品改良や開発を 行っており、2012年度は本格焼酎「黒よかいち」や本みりん 「醇良」のパウチパック採用(P.17参照)など計8件の環境 配慮型商品を開発・発売しました。

2012年度の環境配慮型商品の開発・改良事例

- 本格焼酎「黒よかいち」900mlにパウチパック採用
- タカラ本みりん「醇良 1500ml にパウチパック採用
- ●料理のための清酒900mlにパウチパック採用
- 超特撰松竹梅〈特別純米〉純米金箔入り1.8ℓの内函軽量化
- 焼酎1920㎡ペット製品の外函軽量化

3:環境に配慮した商品開発のための指針

■ 4:グリーン調達・4Rガイドライン

焼酎のはかり売りの展開

宝酒造独自の活動として、焼酎のはかり売りを展開してお り、「はかり売り」実施店の新規開拓についてもISO14001の 目標に掲げ、焼酎のはかり売りの拡大に取り組んでいます。

お客様は家庭にあるペットボトルなどの空容器を販売 店に持参し、宝酒造は1kl や200 l の専用タンクで焼酎を 工場から販売店に直送します。販売店ではその容器にお 客様が必要な分だけ詰めて購入します。

「はかり売り」は、資源の節約や廃棄物の削減を実現す るために人手を使う販売方法であり、消費者、販売店、 メーカーの信頼関係をベースにお互いが協働することで 成り立っています。

現在は全国で約180店舗にご協力いただき、1998年の 開始以来2013年3月までに、2.7ℓペットボトルで約708万 本、段ボール約177万枚を節約することができました。

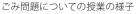
宝酒造エコの学校の開催

宝酒造では、容器の4Rについて親子で楽しく学べる「エコ の学校」を2012年12月に京エコロジーセンター(京都市) にて実施しました。

約20名の親子が参加し、ごみ問題の現状や容器の4Rに ついて学んだ後、お酒の紙パックをリサイクルして紙すき を体験、オリジナルはがきを作りました。

今後も年に数回、「エコの学校」を開催し、容器の4Rに ついて伝える教育の場を設けていきたいと考えています。







オリジナルはがきの完成

<u>■</u> E:エコの学校